

10. まとめ

■人口

令和2年の行政区画人口は47,790人となり、平成27年の50,128人と比較すると4.7%減少。用途地域内でも同様に比較すると4.8%減少。人口構成比は、0～14歳の年少人口は年々減少し、令和2年には11.5%、65歳以上の老年人口は年々増加し34.7%となり少子高齢化が進行している。流出・流入別人口は流出超過が続いている。

■産業

行政区画の就業者数は減少傾向であり、産業大分類別の構成比をみると製造業や卸売・小売業は減少傾向であるのに対し、サービス業は増加傾向にある。工業出荷額は平成21年までは減少傾向にあったが、平成21年以降は増減を繰り返しており、令和元年の工業出荷額は1,824億円となっている。平成28年の商業販売額は1,111億円となっている。

■土地利用

都市計画区域において自然的土地利用が79.7%を占め、山林の面積は都市計画区域面積の72.7%となっている。用途地域指定区域内では、都市的土地利用が81.3%を占めており、宅地用地が用途地域面積の54.5%を占めている。農地転用は用途地域指定区域で331件、14.5ha。新築状況は546件で、建物用途は住宅が91.6%で大部分を占めている。

■建物

用途地域指定区域における宅地面積は795.8haで、建築面積は256.8haで、平均建ぺい率は32.3%、延べ床面積は408.9haで平均容積率は51.4%となっている。用途別建物延べ床面積では、住宅が274.4haで全体の67.1%を占めている。建物年齢をみると多くの地区で昭和56年以前に建てられた建物の占める割合が高いが、下浜、長地南部では他の地区と比べて築30年以上の建物が占める割合が低い。

■都市施設

都市計画道路は30路線、54,510mが都市計画決定されていて、改良済延長は31,648m(58.1%)である。火葬炉4基、面積5,800㎡の湖北火葬場と公園が3箇所、54.63ha、ごみ焼却場が諏訪湖周クリーンセンターの1箇所、2.0haがそれぞれ都市計画決定されている。

■交通

平成27年における推計値を除いた12時間交通量は2,953台～35,832台、24時間交通量は3,839台～50,668台、大型車混入率は2.9%～43.7%、混雑度は0.20～1.98、混雑時平均旅行速度は高速道路を除くと12.3km/h～49.2km/hとなっている。令和2年の岡谷駅の乗降人員は大幅に減少し4,884人となり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が大きいと考えられる。

■地価

平成 27 年から令和 2 年までの 5 年間に於ける地価は、すべての調査地点で下落している。特に湊三丁目の第 1 種住居地域に於ける地価は 5 年間で 12.6%と大幅に下落している。

■自然的環境等

岡谷市の気候は、内陸気候の特性を示しており、年間を通じて雨量が少なく、空気は乾燥している。最高気温は 32.2℃～35.0℃、最低気温は-9.1℃～-15.5℃と寒暖の差が大きく、四季の変化が顕著である。都市計画区域に於ける現存緑地は 6,605.4ha で、そのうち山林が 5,963.5ha で全緑地面積の 90.3%を占める。また用途地域内の公共緑地は 30.3ha で用途地域指定区域の全緑地面積（387.5ha）の 7.8%と少ない。

■公害及び災害

都市計画区域に於ける過去 10 年間の災害の発生状況は、水害が 5 件となっている。防災拠点・避難場所は、避難所が 56 箇所、避難場所が 16 箇所、消防水利は市内の広い範囲に設けられている。